



福島南ロータリークラブ

基本方針:ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811 (代) fax. 024-523-0375
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



- 会長：大野順道 ■幹事：金子親房
- 会報委員長：丹治洋子 ■副委員長：佐藤朋也
- 委員：中央清和 菅野良二 吉田仁一 渡辺勇

第16回例会

平成 25 年 10 月 23 日 (水) サンパレス福島

■会員/72 名 ■出席/39 名 ■出席率/54.17% ■メイクアップ/33 名 ■修正/72 名 ■修正率/100.00%

本日のプログラム

- 1、開会点鐘
- 2、ロータリーソング
- 3、四つのテスト
- 4、来訪者紹介と会長挨拶
- 5、姉妹クラブ東京麹町RC 会長挨拶
- 6、米山奨学生挨拶
- 7、福島県体育協会会長就任祝の御礼
- 8、お客様スマイリング報告
- 9、幹事報告
- 10、閉会点鐘
- 11、東京麹町姉妹クラブ 締結 2 周年記念講話
- 12、2 周年記念パーティー

会員の広場

10 月 27 日 福島民報

福島幼少年女性防火委へ寄付金
 福島南ロータリークラブはこのほど、福島市幼少年女性防火委員会へ寄付金を贈呈した。贈呈式は市消防本部で行った。福島南RCの大野順道会長が委員会の会長を務める高梨敏則市消防長に5万円を手渡した。福島南RCの金子親房幹事と廣澤俊樹社会奉仕委員長が同席した。寄付は毎年行っており、11回目。寄付金は火災予防活動資金として「火災予防絵画・ポスターコンクール」などの運営費に役立っている。

今日の一面記事

25.10.14 読売新聞
 70歳以上の体力最高！
 調査は昨年5～10月に実施。成人の体力は30歳代男性と20・30歳代女性で低下傾向にあるが、50歳代以上は男女とも向上傾向にある。特に「握力」「上体起こし」など7項目について5歳刻みでまとめた65～79歳の高齢者のテスト結果は男女とも前年を上回る項目が多く、65～69歳女性を除き合計点は過去最高だった。

◆会長あいさつ◆

大野 順道 会長



皆さんこんばんは、ようこそお出で下さいました。東京麹町ロータリークラブの皆さんから福島県へ、多くの援助を頂きましたことを感謝申し上げます。またそのことをご縁として姉妹クラブを締結し、この2年間に多くの交流がなされ、意義のある体験や楽しい時間を持てましたことに重ねて御礼申し上げます。今月は米山月間です。江 沛勲米山奨学生が来てくれました。後ほど御挨拶をお願いします。福島21ロータリークラブ初代会長宗形守敏様におかれましては、福島県体育協会会長就任おめでとうございませう。心

よりお祝い申し上げます。いよいよ今月の26、27日、第2640地区の地区大会が大阪であります。大橋廣治パストガバナーがRI会長代理として行かれます。フミ夫人、そして大橋会長年度の幹事であった富田健三郎パスト会長、地区幹事であった中央清和パスト会長も同行されます。拍手を持ってお送りしたいと思います。本日の記念講話に斎藤秀隆先生をお招き致しました。福島市の名誉市民である古関裕而先生についてお話を頂きます。また祝賀会を設けてございますのでどうぞ親睦を深めて頂きたいと思います。京都大徳寺の一休さんが、秋風一夜百千年（秋風のなか、この夜あなたと共にいる。それは百年にも千年の歳月にも値するものだ）という詩を作られました。そう思えるようなひと時となりますよう願って挨拶と致します。

◆姉妹クラブ東京麹町RC 会長挨拶◆

若林 英博 会長



震災後の6月から交流し、10月19日調印式交流が基本福島のものを買う。J A南福島から毎月福島の商品を購入、福島への旅行、募金活動、飯館への車の寄付、福島県社会福祉協議会へ車椅子80台の寄付、これからも福島の役に立って行きたい。

◆米山奨学生挨拶◆ 奨学生 江 沛勲 君



ロータリーを通して温かい社会を知りました。将来日本と台湾の友好の架け橋になるよう頑張ります。

◆福島県体育協会会長就任祝の御礼◆

宗像 守敏 様



21ロータリークラブの本家、福島南RCからのお祝いありがとうございました。東京スポーツ祭では、選手と役員のお弁当に15tの福島のお米を使用しました。

◆東京麹町姉妹クラブ

締結 2 周年記念講話◆

菅原 節子 会員増強委員長 紹介
福島東稜高校 斎藤 秀隆 先生



古関裕而(本名勇治)さんは、明治42年福島市大町に生まれ、昭和3年に福商を卒業した世界的に有名な作曲家です。官制音楽界からは低評価でしたが、戦後大活躍をされました。『歌い継ぐ古関メロディー』古関さんは平成元年8月、80歳で逝去されました。したがって来年は古関さんの没後25年の節目です。私たちは改めて古関音楽をじっくりと聴きながら、古関音楽の素晴らしさを再確認し、疾風怒濤の昭和時代に、多くの人々が癒し、慰められた事実を確認したいと思います。私たちの使命は、古関音楽を継承し次世代にどのように伝えていくかにあります。この使命を是非皆さんと考えたいと思っております。

一生の間に5000曲、それはすごい数だと思います。作曲年齢を仮に20歳から70歳までの50年間としても1年間に100曲、つまり3日に1曲作曲しているわけですから、他人には真似のできない作曲数だと思います。それからジャンル幅の広さが注目されます。校歌・応援歌・映画音楽・オペラやミュージカル、わらべ歌や民謡、クラシックやスポーツ音楽など、その分野は、けた外れと言えます。まさに偉人です。福島にとって、素晴らしい名誉市民です。

◆東京麹町RC 姉妹クラブ 締結 2 周年記念パーティー◆

開会の挨拶



鈴木光一 委員長

乾杯



大橋廣治パストガバナー

東京麹町RC 会長挨拶



植芝守央 会長

福島南RC 会長挨拶



高橋和之 会長

津軽三味線



「手に手つないで」



中締め



野地利雄 会長



一編集後記一

10月22日から10月26日までは台風の影響であいにくのお天気でした。麹町RCの方とのゴルフコンペも大変だったと思います。でもこれからは天気の安定する時期なので皆様も秋を満喫して欲しいと思います。(丹治洋子)